

日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」という新たな金融政策を打ち出したが、今後も金融緩和政策が続けば金融機関の収益環境はより厳しくなる。安易な金利引下げ要求への対応は厳禁だ。金利適正化を前提に、金利交渉時の具体的な応酬法などを解説する。

長 期化する低金利を背景に、融資における金融機関同士の競争は一層激しさを増している。取引先企業の資金余剰、あるいは資金需要が低迷する中で、多くの金融機関は「低金利」を武器にした融資の獲得競争に鎗を削っている。新規需資の発掘だけでなく、他金融機関の肩代わり融資も含め、時には採算割れを覚悟に、あるいは採算割れぎりぎりの金利水準で融資攻勢をかけているというのが実態である。

正)を心がけるべきである。金利引下げ要求に応じない場合には、新規融資獲得の機会を逸する、競合他行に肩代わりされるなどのリアクションも想定され、高度かつ慎重な判断が求められるケースもあるが、金利交渉は金利是正、金利適正化の好機でもある。金利引上げの交渉は、理屈では分かっているが、いざ交渉するとなると難しい面が多いが、それに比べて金利低下時に「金利を引き下げない」交渉は比較的取り組みやすい面もあるだろう。

●取引先の言い分ごとに金利交渉時の応酬方法を紹介

融資金利の引下げ要求先にどう対応するか!?



以下、金利交渉時の融資先との応酬例を挙げてみよう。

融資先の言い分①
金利を引き下げないのは中小企業に対するいじめではないのか

金利交渉にあたり、特に中小・零細企業からは「貸出金利を引き下げないことを理由として、実際には貸渡りや貸剥しを行っているのではないか」「経営が厳しいことが分かっている中で金利の引き下げに応じないのは、中小企業に対するいじめではないのか」といった批判の声を耳にする。

貸渡りなどではなく融資拡大に資する点を説明

確かに、信用格付や信用コストを重視して合理的な貸出金利体系を構築した場合、中小・零細企業は、相対的に高い金利がガイドライン金利(格付)との標準的な適用金利)として求められることになる。信用格付制度が企業を相対的に評価する仕組みであることが

ら、大企業や中堅企業に比べ総じて財務体力が脆弱で、信用コスト(貸倒れの危険性)が高くなるためだ。

そのため、市場金利が低下しているとはいえ、安易に金利の引下げには応じられないのが実態である。その結果、融資先からの抵抗も自ずと強くなり、時としてクレームやトラブルに発展するケースも少なくない。

しかし、中小企業融資という視点で捉えた場合、従来は保証や担保が不足しているなどの理由で融資することができなかった先に対しても、適正な金利を適用することにより、資金を提供する道が開けている。その意味では、中小・零細企業にとって融資を受ける機会が増えたともいえる。

大企業や中堅企業に比べて相対的に高い金利設定になる(結果的に金利低下時での金利引下げに応じられない)ことは否めないが、「適正な金利の設定は、中小・零細企業融資の拡大に資するものである」ことを十分に説明することが必要である。

融資先から「お宅の金融機関の金利体系を開示してほしい」「自社の格付(あるいは債務者区分)を教えてください」といった要望がなされるケースがある。こうした顧客ニーズに呼応するかたちで、金利体系や格付を開示する金融機関も増えてきているが、まだそこまで実施していない金融機関もある。

融資先の言い分②
金利体系や格付基準を開示してくれないと納得できない

確かに、各金融機関で合理的な根拠に基づいて構築している金利体系や格付基準を開示しながら説明したほうが、融資先を説得し、納得を得やすいという面もあるが、「将来的に開示する意向はあっても、現時点ではまだ開示に踏み切れない」「そもそも開示すべきでない」といった考えを持つ金融機関があるのも実際のところであろう。

開示に関しての賛否論は別として、現段階で開示の意向がないにもかかわらず、融資先から金利体系や格付基準の開示を求められた場合は、次の点を説明して理解を求めることが必要である。

・ 自行としての合理的な考え方に基づく格付基準や金利体系を持っており、それにより金利を決定し、金利の引下げを見送ることを判断したうえでお願いしているが、その基準等については自行独自の考え方によるものであり、お客様への開示は差し控えさせていただいていること

・ こうした対応は、お客様すべてに統一に行っていること

「他行では開示しているのに、なぜ開示しないのか」というクレームも想定されるが、この場合には「自行の経営判断で行っている(開示していない)」旨をきちんと説明し、理解を求めることが重要であろう。

いずれにしても、金利適正化交渉にあたっては、「自行としての考え方や基準を有している、それに基づいて交渉を行っている」とことを説明することである。